

10年先も住み続けたい、わがまち（むら）づくりのお手伝い



中山間タイムズ

創刊号 (令和5年4月20日 発行)
発行 富山県中山間地域対策課

1面：中山間地域対策課のご紹介
2面：地域づくり発表会レポート
中山間地域印良品
「北蟹谷のヤーコン」

皆さんの地域づくりをお手伝いします！

中山間地域話し合い促進事業

専門家（講師）の派遣・活性化に向けた話し合いをコーディネートし地域活性化のための計画づくりをサポートします。



↑詳細はこちらから

中山間地域サポート人材育成事業

地域おこし協力隊隊員等、地域の中で活躍する人材へ向けての研修会を定期的に開催します。

中山間地域チャレンジ支援事業

地域を活性化する事業へのチャレンジを応援します。今年度から設備機器などのハード事業も対象となります。



↑詳細はこちらから

ソフト事業

〔補助率：定額〕

25万円/年×最大3年間

※「知事特認地区」は、

50万円/年×最大3年間

ハード事業

〔補助率：1/2以内〕

補助上限額

100万円

※令和5年度新設

中山間地域コミュニティビジネス人材育成事業

地域内での事業を成功させ地域を活性化するアイデアをご提供していきます。

その他

SNS等を活用して中山間地域でのサポート活動やイベント情報等を提供するほか、中山間地域の魅力発信等の取組も行います。



中山間地域対策課長
富士原 禎

私たちは、「10年先も住み続けたい、わがまち（むら）づくりのお手伝い」がモットーの頑張る地域の応援団です。日々、県内各地に足を運ぶなどをして地域づくりのご相談をうけたまわっております。お気軽にお声がけください。

中山間地域サポートセンターについて

課内に「中山間地域サポートセンター」を設置しております。さまざまなご相談に対応するとともに、地域の取組を応援しております。お気軽にご相談ください。

（電話：074-444-4578）

県の取組や事業をご紹介します「中山間タイムズ」を今年度から隔月でお届けいたします。



前列左から
・稲葉主査
・山崎主査
・富士原課長
・表野副係長
中段左から
・蟹澤主事
・西野主事
・小坂主任
・小西主事
後列左から
・三上
・木村
・坂東
・片山

各地域コンシェルジュ

3月12日地域づくり発表会（レポート）

令和5年3月12日、魚津市の「毛勝の郷 シェルピース（片貝地域）」を会場に、令和4年度地域づくり発表会『地域で稼ぐヒントをみつけませんか？』が開催されました。この発表会は、様々なテーマで、講演や特色ある地域づくり事例の発表を行い、がんばる地域を応援するため、県が毎年開催しているものです。

最初に国内外でソーシャルビジネスを手掛ける（株）ボーダレス・ジャパンの鈴木雅剛さんより、コミュニティビジネスを演題とした講演がありました。

講演では、コミュニティビジネスは地域を元気にする有効な手段であり、持続していくには地域を巻き込み助け合いの関係性をつくることや、経営的な視点を持って運営し、社会性や経済性を実現することが必要であるとのお話や、熱量をもったリーダーの重要性を、実際にコミュニティビジネスに取り組んでいる山口県の阿東地福地域の「NPO法人ほほえみの郷トイトイ」の事例をひいて説明されました。

また、「『若い人が参加してくれない』『担い手がない』との声を聞くが、まずは活動される方自身が地域のおもしろい人、カッコいい大人となって、それをきっかけに年代の縦のつながりをつくる必要があるのではないか」と話されていました。鈴木さんの豊富な経験に裏打ちされたお話には約50人の参加者は熱心に聞き入っていました。

鈴木さんは当日の会場にもなった「毛勝の郷 シェルピース」の伴走支援事業にも参加いただいております。片貝地域の事例発表や、午後からの地域づくり事例発表の講評も行っていました。

○コミュニティビジネス伴走支援事業取組例



滝川 貴行氏

片貝地域振興会（魚津市）

シェルピース開業時期がコロナ禍に重なり、厳しい経営状況が続いていましたが、課題を分析、改善することで利用者も徐々に増加してきています。やはり地域コミュニティ活性化のカギは「人の力」。みんなが当事者意識を持って取り組むことが地域活性化には必要だと事業を通して学びました。



宮田 好一氏

○地域づくり事例発表

黒瀬谷地区活性化プラン推進委員会（富山市）

アクションプラン実行に向け推進委員会を作りました。今は5つのプロジェクトチームが互いに競い合っていて活動しています。各チームは、特産品特売市「菜菜これれ市」やコミュニティカフェの運営、移住者受け入れ活動、農作業体験など、様々な活動に取り組んでいます。



(株)ボーダレス・ジャパン
鈴木 雅剛・副社長



野澤 敏夫氏

北蟹谷地域活性化協議会（小矢部市）

6つの委員会で構成する活性化協議会では、ガンリンスタンド跡地を利用した農産物直売所「村の駅きたかんだの郷」の運営をはじめ、様々な活動に取り組んでおり、100人を超える方に協力いただいています。最近ではカフェや居酒屋の運営も行っており、地域内外の方が集まる交流の場になっています。



佐藤 将貴氏

里山マウンテンバイクツーリズム実行委員会（立山町）

これまで「オワコン（終わったコンテンツ）」だと思われていた里山も道を切り開きE-バイクで巡るツアー対象にすることで「ゾッコン」になりました。身の回りにある真の豊かさを見逃さず、組み合わせることで新たな価値を持つ可能性を秘めています。この「オワコン→ゾッコン」をさらに広げて行こうと思います。

中山間地印良品 ① 北蟹谷のヤーコン



ヤーコンは南アンデス原産のキク科野菜。オリゴ糖やポリフェノールを多く含み、梨のような食感と強い甘みが特徴で、サラダやキンピラなどの料理に適しています。

北蟹谷地区では2016年より耕作放棄地を利用して特産品化をめざして栽培しています。

11月中～下旬に収穫され、「村野駅きたかんだ」などで販売されます。